

# 第4回災害復旧技術講習会(2024.02.02)

近年、全国各地において激甚な自然災害が頻発、被災市町村における災害復旧事業については、災害査定などの普段体験しない迅速な対応と膨大な実務が、限られた職員に多大な労力や負担として強いられています。

九州地域づくり協会では、九州内の市町村職員を含めた土木技術者の災害対応能力の向上に資するため、令和4年度より災害復旧事業を基礎から学ぶ講習会を年2回（6月、1～2月）開催しています。

今回で4回目となり、約145名（会場27名、Web118名）の受講者となりました。

当日は、これまでの災害復旧事業関係法令、災害復旧の事例及び被災自治体への支援事例などの他、災害査定での留意点や新たにDX（デジタルトランスフォーメーション）を用いた災害査定などをご紹介いただきました。

受講後のアンケートからは、「経験の浅い技術者にもとてもよい講習会だった」、「改良復旧やDXを活用した災害査定の実例等をもっと知りたい」、「DXを活用した災害査定の実例講習会の実施を希望」などのご感想・ご要望の他、この講習会の継続的な開催を望む声など多数の建設的なご意見をいただき大変有意義な講習会となりました。



【主催者挨拶】

(一社)九州地域づくり協会  
理事長 田中 慎一郎



災害復旧技術専門家  
後藤 信孝氏



国土交通省 水管理・国土保全局  
災害査定官 小川 渉氏



鹿児島県 土木部 道路維持課  
技術主査 眞邊 武志氏



(一社)九州地域づくり協会  
技術部長 久留 省二

## カリキュラム

- ・「災害復旧事業制度について」  
「改良復旧関係事業について」  
災害復旧技術専門家 後藤 信孝氏
- ・「災害査定留意点について」  
国土交通省 水管理・国土保全局 災害査定官 小川 渉氏
- ・「DXを用いた新しい災害査定(試行)について」  
鹿児島県 土木部 道路維持課 技術主査 眞邊 武志氏
- ・「被災市町村への支援事例について」  
(一社)九州地域づくり協会 技術部長 久留 省二



【講習会の様子】